



西 銑 治 議員

牛島整備事業の選挙結果を問う

問 牛島タラソは、NOと云う市民の声を聞かず進めた行政責任は。
答 この事業の将来の財政負担に、大変危惧する面があり、立ち止まることにした。
問 今回の選挙結果は、タラソにかかる経費の評価ばかりではないのでは。
答 選挙結果はそれぞれ民意の反映として、謙虚に受け



鹿島区牛島地区

止めている。
問 地元要望に対する回答書があるが、早急に話し合いをすべきでないか。
答 牛島開発の進め方については、地元住民を初め市民の意見を聞いて検討する。
問 特別職・区長制度は廃止し、行政の簡素化を図るべきでは。
答 区長制度は10年となっ

ているが、地域協議会の意見も踏まえ本制度を見直す必要があると考える。
問 地域協議会委員選任は、地域づくり・まちづくりに意欲のある人を多く採用するため公募制度ではどうか。
答 地域内の公共団体や見識者の他、公募3名を選出して、今後逐次検証していく。



渡部 寛一 議員

子育て支援のまち南相馬に

問 南相馬市として、せめて小学校卒業までの医療費を無料化にしたい。
答 有効性と財政状況を見て対処していく。時間を下さ
問 子供の予防注射は、ポリオ、日本脳炎など8種は無料です。水痘、インフルエンザ等は全額自己負担です。子供等の全ての予防注射を無料にする
問 南相馬市として、せめて小学校卒業までの医療費を無料化にしたい。
答 有効性と財政状況を見て対処していく。時間を下さ

べきです。
問 今後、検討する。
問 望ましい妊婦検診13回中、無料化助成は5回にとどまっています。福島市のように、全ての検診を無料にする南相馬市にしませんか。
答 財政状況を見て検討していく。
問 保育所保育料は2人同時入所の場合だけ2人目無料



楽しい保育園

り、4社が内定している実態である。誘致対策については相馬市の例がある。工業団地を造成し、完全な受入れ態勢をつくるべきである。
答 今現在、日立工機の遊休地がまだ残っている。また日立建機が25ha造成した未利用地の活用、木工団地に新たな工業団地的な考えも含めて力を入れていく。



小林 正幸 議員

企業誘致策について

問 子供たちが、地元で就職したくてもできない現状である。企業誘致策について、現在までの取組みと今後の計画について。
答 市内主要企業には、安定操業と雇用の場を加他地域に移転しないよう働きかけている。増設など経営拡大の際には、市内での立地を要請するため本社を訪問している。

新規企業誘致については、企業誘致情報に精通している方や地元出身者などの紹介、関係機関などとの連携により、企業への訪問を行っている。今後、これまでの取組みを継続し、4月より企業誘致担当課長を配置するなど、一層推進していく。
問 隣の相馬市では、工業団地4ヶ所で12社が操業して

している。企業誘致に向けた運動は。企業誘致に向け、東京事務所との連携は。市独自の用地確保等は。
答 西の玄関口として産業経済活動に重要な地域。アクセス道は本線が2車線のため今後の交通量を勘案し対応。物流基地として、民有地であり慎重に検討して行く。県当局と密に連携する。土地取得を含めて、受皿整備をする。



ゆめサポート



平田 武 議員

行政事業の着目について

問 中体連、高体連の開催できる陸上競技場、テニスコート、サッカー場及び射撃場の整備は。陸上競技場の借地使用の改善及び生涯スポーツ施設の計画は。駅通りに元気な高齢者が集う施設の立上げについて。
答 街の活性化にスポーツ施設の充実が重要である。新市スポーツ施設計画の中で、

各競技場及び借地の件、生涯スポーツ施設について検討して行く。テニスコートは、21年度までに12面とする。小規模単位の高齢者の共同生活施設として、福祉と併設した形で街中居住を含めて検討する。
問 常盤高速開通に向けて、インター周辺の土地利用計画及びアクセス道整備や開発構想は。深野地区に物流基地と

業でも新たな雇用が生じた時には支援すべきと思うが。
問 多面的に支援をしたい。
問 国の新たな施策について、市は積極的に取組み農家に意欲を出させる予算措置が必要では。
答 品目横断への加入は、個別が24集落が9経営体。農地・水環境については、48集落で農用地面積3,800haに対し約4,000万程新たな負担を見込んでいる。



市営陸上競技場



西 一 信 議員

南相馬市農業の再生対策は

問 農業の再生なくして、市の活性化はあり得ない。南相馬市は落ち込んでいると思われ。打開策として、市独自の農業振興策が必要である。
答 担い手あるいは集落営農のリーダー、JAと行政が連携し相互に力を発揮の出来る施策の展開を図りたい。
問 食農環境の再生に向けて、環境にやさしい安全安心

な取組「有機栽培や特別栽培」への助成を検討すべきでは。
答 積極的に支援する。
問 鹿島区、小高区への農業経営改善支援センター専任相談員の新たな配置の考えは。
答 正規職員がその役割を担えるか検討し、予算措置をしたい。
問 市では、現在企業に対して支援を実施しているが、農



イノシシ被害状況 (原町区大原)

効果に問題がある。中止すべきでは。
問 市民の潤いと安らぎの場、交流人口拡大を目的としており、市外から来園したいと思う施設を計画している。建設費、管理費を削減し、費用対効果を十分検討した計画であり、効果は期待できると考える。
問 新図書館建設について今ある施設を使えないか。規模、建物グレードを見直し、建設費を削減すべきでない



志賀 稔 議員

費用対効果を厳しく検証して

問 牛島開発の再構築にあたっては、温泉は掘削済みであるから地元要望を考慮すると共に過大な財政負担につながらない施設内容に止めなくてはならないと思うが。
答 将来の財政負担等を考慮し、地元、市民の意見を聞き十分安心していただける整備を考えたい。
問 文化公園整備は費用対



市内風景

か。維持費は現在の管理費程度に収めるべきと思うが。
答 検討委員会を12回開催する等、十分な調査検討を行った計画だ。地域全体の教育力向上、生涯学習の拠点施設として、他と比較しても過大ではない。背伸びした施設とは思わない。今後の新市建設にどのよう生かすが、より重要と考える。